

ちぎんの会

すない 「寿長生」

日時 10/11 (木)
～10/12 (金)

まで1ヶ月となりました。

集合場所は

新幹線「新神戸駅」

集合 13時

新神戸駅前ロータリーより送迎バス

JR神戸三宮駅

集合 13時



年金者部会ニュース

滋賀銀行
従業員組合
年金者部会
TEL077-521-2775
FAX077-525-5232

- 途中ハイウエイオアシスで休憩（20分）
- 「いざなぎ神宮」に寄り
- バスで『淡路島海上ホテル』南あわじ市に移動（約2時間）。
- 途中ハイウエイオアシスで休憩（20分）

2. 会費 2万円

- 午後1時新幹線・新神戸駅（駅前ロータリー）に集合します。
- なお、集合をJR神戸三宮バスターミナルでもOKになりました。（集合時間午後1時）各自の集合場所を事務局に返信ハガキで連絡を。

- 第一日
- ホテル出発9時30分「淡路人形座」へ人形劇鑑賞後10時40分に帰路へ
 - バスで新幹線・新神戸駅まで移動し解散となります。（途中昼食は、「きとら津名店」でとります）

1. 日程
- 午後1時新幹線・新神戸駅（駅前ロータリー）に集合します。
 - なお、集合をJR神戸三宮バスターミナルでもOKになりました。（集合時間午後1時）各自の集合場所を事務局に返信ハガキで連絡を。

- 第二日
- ホテル到着は午後4時頃になります。
 - 17時30分より総会兼交流会を開きます。

7月12日世話人会を開き
ちぎんの会『寿長生』の日程を最終協議しました。
参加者は、全体で29名になりました。ちぎんしがの会からの参加は20名です。

「いざなぎ神宮」は、「古事記」・「日本書紀」の冒頭「国生み神話」に登場する、二柱をお祀りする神宮です。

ます。（30分）

「いざなぎ神宮」は、「古事記」・「日本書紀」の冒頭「国生み神話」に登場する、二柱をお祀りする神宮です。

会費は、集合場所で集めます。

参加団体は、大分OB会、泉州年金者部会、地銀連書記局OBとちぎんしがの会です。

集合場所までの交通費は各自負担となります。

今後の日程

- 10月23日 年金者部会総会
- 10月11日～12日 ちぎんの会「寿長生」
- 9月14日 年金者部会世話人会



淡路島マップ

7月12日世話人会を開催 ちぎんの会「寿長生」の詳細を最終協議

第17回（2018年度）

滋賀銀行従業員組合年金者部会総会

て年に一度の総会です。万障繰り合わせてご出席をお願い致します。

日 程	
10時	第121回滋賀銀行従業員組合定期大会
15時	滋賀銀行従業員組合年金者部会総会 開 会
16時30分	総会 閉 会
17時	従業員組合と年金者部会交流会
19時	交流会 閉 会

※時間の許す方は、滋賀従組定期大会からの参加をお願い致します。

と き 十月一十三日（水）午後三時より
ところ ライズヴイル都賀山
(旧つがやま荘)

守山市浮気町300-124
☎ 0771-5831-7181

7月29日、朝日新聞は「年金
ようかん」どう分ける将来に残
すべき分、今の高齢者に移転する
という見出いで、『マクロ経済ス
ライド』を全面的に合理化する記
事を掲載しました。しかも、「日
本退職者連合」（連合系）の政
策委員長が大学のゼミ学生に對
して「今の年寄りがようかんを
大きく切つて食べればヒースは
小さくなつてしまふ」とまで發
言しています。

大学のゼミ生（指導する大学
教官）と「日本退職者連合」によ
る絵に描いたような「世代間
対立論」であり、大学のゼミ生
（指導する大学教官）と「日本
退職者連合」による絵に描いた
ような「世代間対立論」は間違
いであると指摘し、低年金、無年
金を解決するためには、全国で現役労
働者世代や若者と話し合い、年
金確立の運動を進めています。

年金者組合はこのよう
な「世代間対立論」は間
違いであると指摘し、低年
金、無年金を解決する
ために、全国で現役労
働者世代や若者と話し合い、
若者も高齢者も安心でき
る年金確立の運動を進め
ています。

「朝日」若者と対話し共闘進めよ
うを見て、かねがね若者と高齢
者を利害対立的な論調に苛立ちを
感じていた。若者も年金組合に加
入して貢って両者が安心できる年
金制度を作る運動を広げよう。

T

世代間対立あおる「朝日」 若者と対話し共闘進めよう

代間の所得移転の経路の1つで、
住宅取得・子育て・遺産相続など、
高齢世代（親）から現役世代（子）
へさまざまな逆所得移転がありま
す。経済環境が異なり、生活水準
が変化する数十年を隔てた時代に
金制度を作る運動を広げよう。

「朝日」若者と対話し共闘進めよ
うの2面に「針路」という
囲み記事があります。見
出し「世代間対立あおる
「朝日」若者と対話し共闘進めよ
う」を見て、かねがね若者と高齢
者を利害対立的な論調に苛立ちを
感じていた。若者も年金組合に加
入して貢って両者が安心できる年
金制度を作る運動を広げよう。

生活する、異世代の年金收支を
ようかん1本に例えて説明す
る根拠はまったくありません。
しかも年金の実質的な価値を削
減一辺倒であり、200兆円の積
立金を取り崩して年金保
険料を引き下げる、標準
報酬の上限62万円を健保
なみに139万に引き上
げるなどの若者も高齢者
も安心できる年金制度は
どうあるべきか、という
言及がまったくありません。
年金者組合はこのよう
な「世代間対立論」は間
違いであると指摘し、低
年金、無年金を解決する
ために、全国で現役労
働者世代や若者と話し合い、
若者も高齢者も安心でき
る年金確立の運動を進め
ています。